

るならば、(唯)指導者が如何にそれを政策的に操作せしめようとしても、それは不可能だ」と。だがそれは困難な、もし労働者が近き将来に於て、社会民主党を指導者として固定化してしまふならば、無論労働者の労働運動への轉化は不可能かも知れない。だが労働者の社会民主党を指導者への固定化は、左の階級政党内閣によって、嗣して不可能である。

一、大衆の左翼化  
二、將來確立されるであろうこのプロレタリアート黨の影響  
三、指導者の政策的努力。

(L) 労働黨が、右翼的指導精神によつて買かれたる労働黨として存続する限り、労働政治同盟への轉化は、斷じて可能である。それを疑ふのは、一種の小ブルジョア的懷疑主義である。現にインダの指導者たちは、彼等の革命的労働政治同盟へ轉化せしめることを決して不可能だと言はなかつたではないか。

(N) だが「現在の労働黨を、どう改選して見たらどうで、それを改選して労働政治同盟に轉化せしめることは不可能だ」といふ意見ならば、それは全く正しい。そもそも、労働黨を労働政治同盟へ轉化せしめることは、その組織原則に於て、その二つの異つた組織の間隔を、労働黨の組織に労働政治同盟の組織方針を加味するから、労働政治同盟問題が直接に出来上るもの如く考へるべきであらう。労働政治同盟問題が直接に出来上るもの如く考へることは、全く不十分した自己満足である。(我々、すつと、この問題を、それを固い目に見つめて、最近、労働政治同盟問題の存在、断にその組織原則を徹底的に説明するに及んで、漸くその問題を

労働黨の指導者には、組織に對する態度をもつて、我々、自派のブルジョアと労働黨との間に組織した階級を用ひてゐる。だから社会民主党と労働黨の性質は必ずしも一様ではない。それらの中には階級主義的のものもあれば非階級主義的のものもある。だが、一切の社会民主党と労働黨に共通の指導方針を示せば、大陸左の通りである。

一、社会民主党的國家理論——國家及び國家機關は、階級を超越して存立する或後であり、その活動は憲法内の多数少数の關係によつて規定されるものである。だから、社会民主党は労働者階級の國家機關に對してその充分の道を打開する。

ヒルファートインゲは夫に隨つて夫の如く言つてゐる「上部階級は不斷に變化する。我々は階級、階級運動の勢力が極めて迅速に進出したことを、そしてその結果、また労働者の勢力下に、また階級者との闘争に、資本主義國家が民主主義共和政體の形にまで變化したことを目標としてゐる。この形質の共和政體では、上部階級は既に幾分かプロレタリアートの威力と階級意識と組織力とによつて變換されてゐる。我々は、この形質の資本主義的國家の中で、それら進歩するプロレタリア階級の勢力がどの程度まで成長してゐるか、又それが、政治のうちにどれだけの勢力を占めてゐるか、そしてそれが、資本主義的國家に對してどれだけの種類の自己目的の政治的運動を移しつゝ出て來てゐるか、と、このことを知つてゐる。これは大きな變化だ。ところが、この近代民主主義は、大の事實によつて、從來のあらゆる政治階級を覆つてゐるものである。

明にし得た。(ツ) 我々は、後述するやうな方法で、我々の陣営が、労働黨の政から労働政治同盟の形に轉化することを計畫し、その實現のために、全力を擧げて努力しなければならぬのである。我々は、やがて、我々の努力によつて——我々のみの努力によつてではないが——我陣にも必ず強大なる労働政治同盟が確立されるであらうことを確信するものである。

### 四、労働黨と社会民主党と義政黨との相異點

(イ) 労働黨は、社会民主党と大衆黨と同じく一の労働黨である。而してそれは、社会民主党や全国大衆黨の様な社会民主党と義政黨とは断じてない。ではわが労働黨とそれらの社会民主党と義政黨との相違は、どこにあるか、それを明かにするために我々は先づ、社会民主党と義政黨一般の性質、特徴を説明することしよう。

(ロ) 社会民主党と義政黨は、自ら送らなく社会民主党と義政黨によつて指導されてゐる政黨であるがそれらの指導者は、プロレタリア階級のブルジョア階級の階級として、資本主義制度階級といふ政治的階級を担つてゐるものである。——このことは、社会民主党と義政黨の階級のみならずはまるごとくあつて、社会民主党と義政黨の大衆によつてゐることはない。しかし、各々の社会民主党

階級分派では、義政黨に對する大衆は政治に對峙してゐる。我々の陣営は、階級の力、自分の意識の力、自分の階級を政治の天幕面に押し込めようとするならば、自己の階級に對して階級に結束し、統一した意思をもつて、階々と資本主義世界の運動に對して對峙するまでもなつてゐるものである。勿論、労働黨は今現在階級上において階級階級であり奴隷である。しかし政治的には彼々自由になることが出来る。またならねばならぬ。然るに初めて、政治的自由に加ふるに經濟的自由を以てすることが出来るのである。——これが社会民主党と義政黨の國家理論である。一、社会民主党的見識——資本主義は決して没落過程にない。資本主義の前途にはなほ一の上面時代が展開する。……資本主義最近の運命は、「階級主義」によつて、即ち、一切の階級の「階級主義」によつて、つまり階級階級によつて——革命的階級の可能にまで導くであらう。XXXXXXおよびXXXXXは無用且時代錯誤的のものである。かくして、彼等はいつれも皆ブルジョアの聯合政府への加入を目標として進んでゐる。

三、プロレタリア階級——階級的にブルジョア政府に加護してゐる社会民主党と義政黨の階級は、社会主義運動の防壁である。この階級は、右に述べた民主主義の理論に基づいて、そして階級の資本主義はなほ永く持續的の上向するところも無いから、階級はゆるいであつて、階級に對して二つの方向を採る。即ち、ソウヴェット・ロシアに向つて、階級は、自己の階級階級に向つて、ソウヴェット・ロシアに對する階級は、多年、夫の命運の下に行はれて來た。